

いのちを守る 避難計画は できるのか

期日: 5月24日

13時半~16時半

会場: ひと・まち交流館 京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る
梅湊町 83 番地の 1
(下記地図参照ください)

最新の交通工学とシュミレーターから探る

原発の再稼働が今夏にも始まろうとしているなか、事故が起きた時に住民の安全を確保し、命を守るための避難計画は、原発から30キロ圏内の135自治体でまだ4割が策定できていない。そして、策定を終えた自治体の避難計画も、その実効性が極めて危ぶまれている。実情をもっとも正確に知る自治体首長による報告とともに、最新の交通工学と、事故時の放射能拡散シュミレーターを用いて、現状の避難計画の問題を分析し、同時に実効的な避難計画立案には何が必要かを探る。

■申し込み方法

メールもしくは FAX にて、お申し込みください。定員 150 名で、お申し込み順とさせていただきます。
Fax 075-702-1952
E-mail mayors@npfree.jp

司会
進行

上原公子

「脱原発をめざす首長会議」事務局長

報告
者1

上岡直見

環境経済研究所代表

*上岡氏は『原発避難計画の検証 このままでは、住民の安全は保障できない』の著者

報告
者2

青山貞一

環境総合研究所前代表

*開発者の青山氏は、国会の事故調査委員会に呼ばれ3時間にわたり放射性物質シミュレーションと住民避難、住民への影響、シミュレーションの技術的問題について説明をしている。

鷹取 敦

環境総合研究所代表

*環境総合研究所は、3次元流体計算システム (Super Air 3D) を駆使し日本各地の原発事故時を想定、事故規模、風向、風速等を設定することにより、地形を考慮した詳細シミュレーションをデータベース化。自治体などのユーザーが設定した諸条件により瞬時に影響を表示し評価可能なシステムを開発した。

報告
者3

各自治体の首長から



【バス】市バス 4, 17, 205 号系統「河原町正面」下車
【電車】京阪電車「清水五条」下車 徒歩 8 分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩 10 分

共催「原子力災害・防災計画に関する勉強会」実行委員会
脱原発をめざす首長会議
連絡先「原子力災害・防災計画に関する勉強会」実行委員会
Tel 075-701-7223 Fax 075-702-1952
脱原発をめざす首長会議
Tel 03-6851-9791 E-mail: mayors@npfree.jp

※この活動の一部は一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの助成を受けています。